



まい 埋やちよ

No.28

千葉県八千代市
埋蔵文化財通信
2013. 8. 15
(平成 25 年)

平成 24 年度を振り返って

本号では、平成 24 年度の事業内容についてご報告します。また、今年度これから予定されている展示会についてご案内します。

発掘調査事業

発掘調査は、12 遺跡 15 地点の確認調査と 1 遺跡の本調査を行いました。個々の調査概要は次頁の表や図を参照してください。

整理事業

平成 6～7 年度に都市計画道路の建設に先行して実施した平沢遺跡 a 地点・殿台遺跡 a 地点の発掘調査報告書を刊行しました。平沢遺跡は弥生時代後期の集落跡、殿台遺跡は旧石器などが出土しています。

また、平成 23 年度に実施した市内遺跡確認調査の本整理と発掘調査報告書刊行を、同じく 23 年度に本調査を実施した小坂橋遺跡 d 地点、ヲサル山南遺跡 c 地点の本整理と発掘調査報告書刊行を行いました。小坂橋遺跡は、古墳時代と中世の資料が得られました。ヲサル山南遺跡は、縄文時代中期の良好な土器などが出土しました。これらの報告書に掲載した遺物の一部は、八千代市教育委員会庁舎 1 階の文化財班前のガラスケースに展示していますので、機会がありましたら、ぜひご覧ください。

普及・啓発事業

通算第 5 回・第 6 回となる出土品展示会を、平成 24 年 9 月 12 日～14 日に八千代台公民館で、11 月 10 日～12 日に勝田台ステーションギャラリーで開催しました。市内 6 箇所の遺跡から出土した弥生時代の遺物を中心に 20 点を展示しました。合計 6 日間で延べ 584 名の来場者があ

り、盛況でした。

東京成徳大学は、建設に先行して昭和 63 年度～平成 10 年度に栗谷遺跡などの発掘調査を行いました。そのご縁で、大学の「伝統文化資料室」に栗谷遺跡の出土遺物 4 点が展示されています。24 年度には、大学祭で展示するために同遺跡の 4 点を追加で貸出しました。

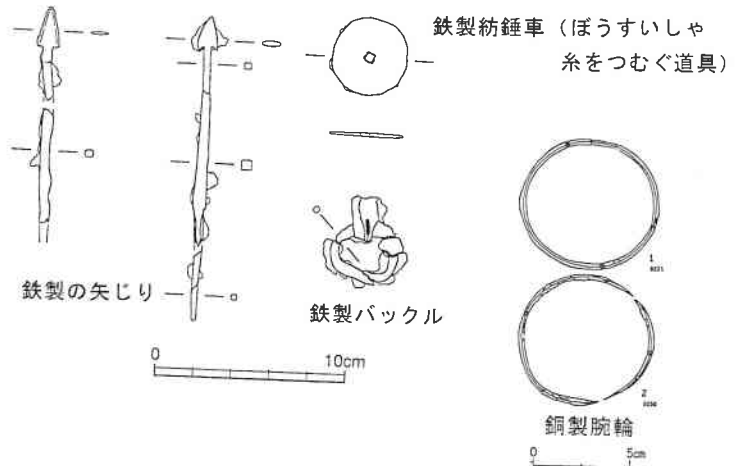
白井市郷土資料館には、同館の企画展のために田原窪遺跡の空撮写真を貸出しました。

群馬県みどり市の岩宿博物館は、日本で初めて旧石器が確認された岩宿遺跡に由来する博物館として有名ですが、ここに八千代市坊山遺跡出土の旧石器 12 点を貸出して、展示しています。24 年度には、さらに坊山遺跡のローム層写真を貸出しました。

「埋やちよ」は 27 号を発行しました。

保存処理

金属製品の保存処理としては、上谷遺跡の鉄製品 4 点と村上 1 号墳の銅製品 2 点を対象として実施しました。これらの一部も文化財班前のガラスケースに展示しています。



保存処理した金属製品

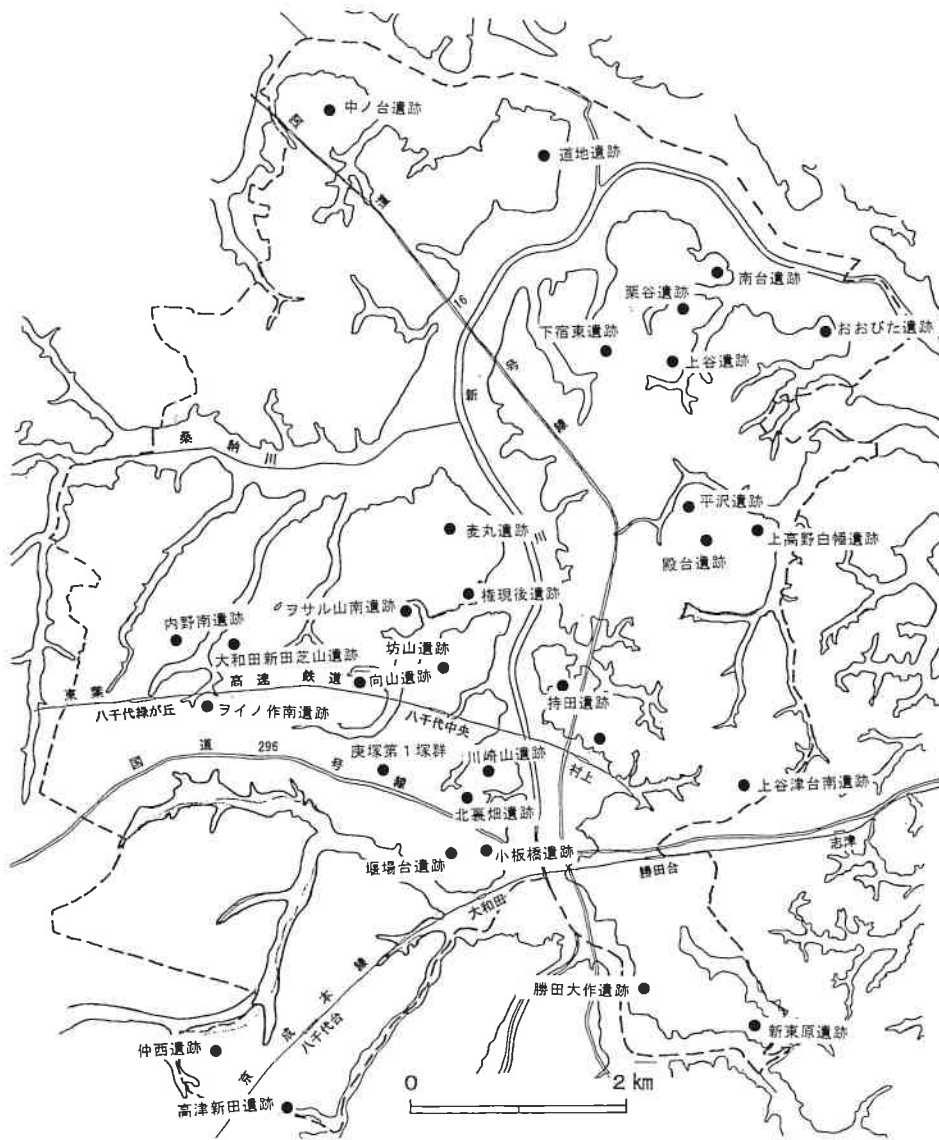
平成 24 年度

確認調査一覧

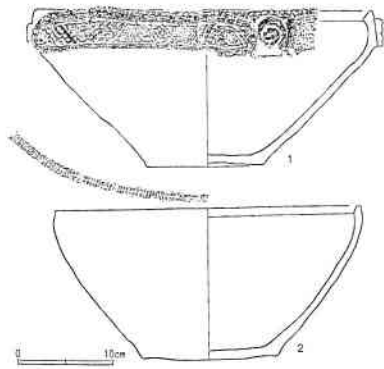
遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
仲西遺跡 a 地点 (八千代台西)	4/17~4/18	6/50㎡	遺構・遺物とも無し	
勝田大作遺跡 b 地点(勝田)	4/20~5/9	280/2,975㎡	奈良・平安時代土器	
麦丸遺跡 i 遺跡地点(大和田新田)	5/11~5/24	156.8/1,319.13㎡	縄文土器, 奈良・平安時代土器	
川崎山遺跡 r 地点(萱田)	6/12~6/14	20/200㎡	古墳時代土器	
内野南遺跡 f 地点 (吉橋)	7/5~8/8	1,064/10,790㎡	縄文土器	
内野南遺跡 g 地点(吉橋)	8/10~8/29	341/4,428㎡	縄文時代礫, 奈良・平安時代土器	
小板橋遺跡 f 地点 (大和田)	9/4~9/10	30/277.38㎡	縄文時代 落とし穴1基, 近世土器	保存
持田遺跡 d 地点 (村上)	9/6~9/18	100/1,470.14㎡	近世・近代溝跡2条, 中近世陶磁器	
新東原遺跡 k 地点 (勝田)	11/7~11/15	78/777.5㎡	遺構・遺物とも無し	
堰場台遺跡 a 地点 (大和田)	12/26~1/21	729/7,806.27㎡	縄文時代 竪穴住居跡1軒, 落とし穴1基, 土坑4基, 縄文土器 古墳時代 竪穴住居跡3軒, 古墳周溝1条, 土器	本調査へ一部保存
北裏畑遺跡 e 地点 (萱田町)	1/18~1/25	44/411㎡	近世・近代溝跡1条, 近世かわらけ	
上高野白幡遺跡 a 地点 (上高野)	3/14~3/26	450/6,551㎡	遺構・遺物とも無し	
新東原遺跡 l (エル) 地点(勝田)	3/18~3/21	30/335.9㎡	遺構・遺物とも無し	
下宿東遺跡 b 地点 (米本)	11/26~12/7	140/1,453.55㎡	縄文土器	
勝田大作遺跡 c 地点 (勝田)	12/3~12/12	216/2,992.84㎡	縄文土器, 奈良・平安時代土器	

本調査

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
庚塚第1塚群 (大和田新田)	7/2~8/2	182㎡	近世塚1基, 土坑6基, 近世内耳土鍋, 馬骨	



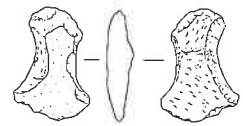
本号に掲載した遺跡



ヲサル山南遺跡 c 地点出土の縄文土器

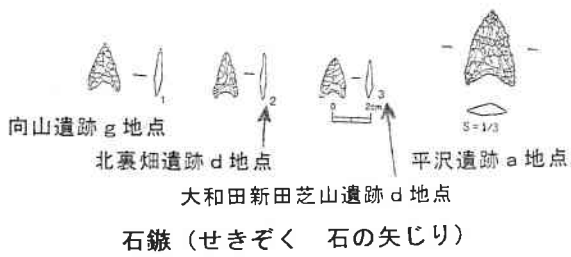


取っ手が上下 2 段
ついた縄文土器

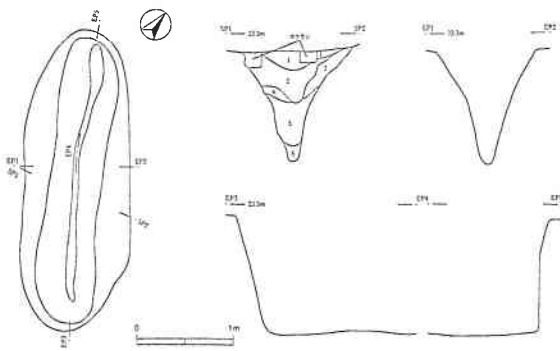


打製石斧 (だせいせきふ)

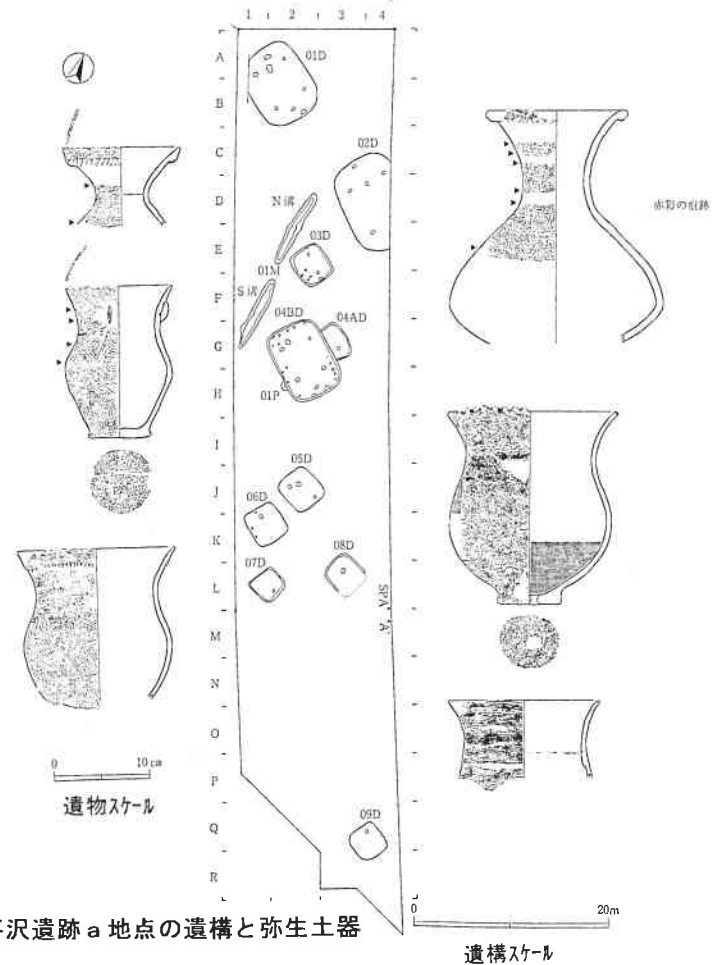
道地遺跡 i 地点の出土遺物



石鎌 (せきぞく 石の矢じり)

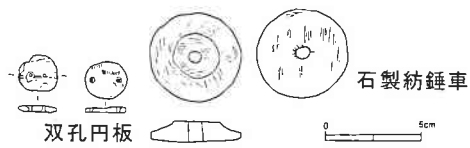


川崎山遺跡 q 地点の落とし穴

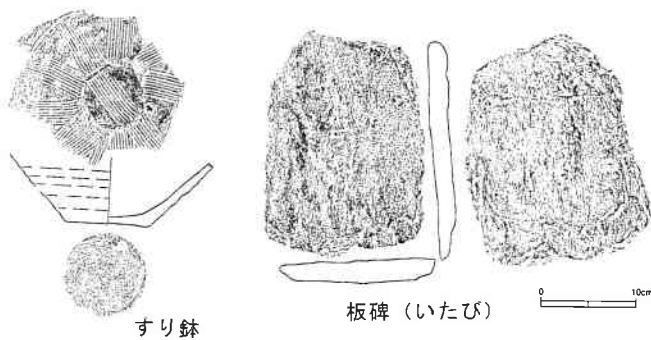


平沢遺跡 a 地点の遺構と弥生土器

遺構スケール



小板橋遺跡 d 地点出土の古墳時代の石製品



小板橋遺跡 d 地点出土の中世の遺物



中ノ台遺跡出土の近世土器



近世の遺物 泥面子 (どろめんこ)

平成 25 年度の普及・啓発事業について

今年度の出土品展示会は、「緑が丘の遺跡展」というテーマで、東葉高速鉄道八千代緑が丘駅周辺の発掘調査で出土した遺物を、展示することにしました。今や都心につながるまちとして発展している緑が丘ですが、ここにはかつて縄文時代や奈良・平安時代の遺跡があったのです。

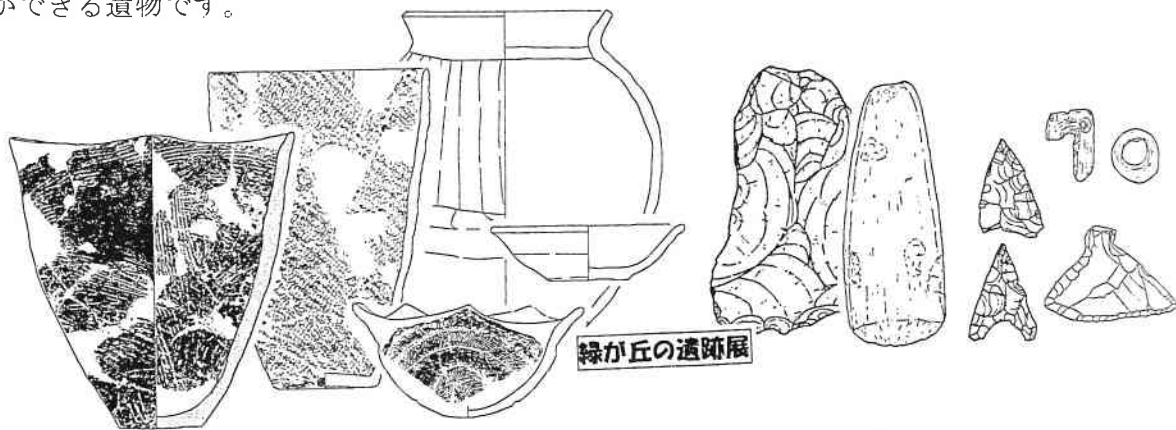
縄文時代では、特にライノ作南遺跡の前期中頃の集落跡が注目されます。この頃は、現在よりも海が内陸に入り込んでいた時代と考えられ、その現象は「縄文海進」と呼ばれています。市域では、印旛沼方面から萱田の飯綱神社の下の新川低地あたりまで、海が入っていたと分析されています。それを暗示するかのようにライノ作南遺跡からは、マガキの貝殻などが出土しています。つまり小規模ながら貝塚があったのです。舟を使って花輪谷津を北上し、桑納川から新川へ入ると、マガキを獲れるポイントがあったのかもしれませんが。また、土器の底に魚骨の圧痕がついた破片が出土しています。この魚骨は、ニシン科と考えられ、イワシの可能性が高いようです。さらに縄文早期後半や前期後半の土器には、海産貝類を使ってつけた紋様が多く見られます。これらもまた、海を感じる事ができる遺物です。

緑が丘周辺には、弥生時代・古墳時代の遺跡がほとんどありません。長い空白期の後に奈良時代すなわち 8 世紀の竪穴住居跡が内野南遺跡にポツリと 1 軒現れます。その後また空白期があり、平安時代の 9 世紀後半くらいから集落が営まれます。

古代の日本の大和政権は、中国の隋や唐の政治に学び、律令制度、公地公民制などを採用しました。公地公民制とは、人民・土地すべて国の所有物とする制度です。しかし 8 世紀頃には、土地の私有を認めざるを得なくなり、さらに 9 世紀後半になると、有力な貴族や寺社の私有地が増大し、後の「荘園」となって行きます。そのような時代背景が緑が丘の遺跡にどのように反映しているのか、考えてみるのも興味深いことです。

「緑が丘の遺跡展」は、平成 25 年 6 月 8 日～10 日に勝田台ステーションギャラリーで、8 月 3 日～4 日には地元である緑が丘公民館で開催し、計 5 日間で 400 名以上の来場者がありました。

9 月 11 日～13 日には八千代台公民館で開催いたします。皆様、ぜひご来場ください。



—編集後記—

発行が遅れてしまい、反省しております。次回は墨書土器を特集する予定です。



埋 (まい) やちよ No.28

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

平成 25 年 8 月 15 日

編集・発行 八千代市教育委員会

教育総務課 文化財班

八千代市大和田 138-2

☎276-0045 ☎047(481)0304